

日本ものづくりワールド

EFウエア各社も出展

幕張メッセで開催中の「日本ものづくりワールド2020」には、夏に向けた電動ファン(EF)付きウエアの新作を披露するメーカーも出展している。開催は28日までの予定。新型コロナウイルスの感染による展示会中止が相次ぐ中、商品発表

機会の減少も今後、問題になってくる。

工場設備・備品展エリアに出展した住宅用基礎関連器材メーカーのエヌ・エス・ピー(岐阜県津川市)は今夏発売予定のEFウエア「Nクールウエア」(写真)を公開。服の背面に取り付けた筒



状のスペースにサーによって、どんな姿勢でも従来の同社製品比約5倍の風速で首の

後ろに風を流すことができる。生地にはスーパーチタンコーティングを施し、紫外線・赤外線を最大99%カットするほか、遮熱効果は未加工のポリエステル100%布と比較して最大で11℃上昇を抑えることができるという。

「新型コロナウイルスの影響で商品物流にも影響がはじまっている」とする空調服

(東京都板橋区)は、プロシリースで綿100%ヘリンボン素材を使用し、軽量で着心地と肌触りの良さが特徴の「綿ヘリンボン空調服」や、デイズシリースの「ポリエステル製エンボスプリント空調服」などを紹介。

防災用品、熱中症対策商品などを企画開発するリンクサス(大阪市中央区)は、最大電圧10Vのブーストモードを装備したEFウエア「クーリングフラスト」を展示。風量最大となる10Vのブーストモードに切り替えることで、稼働時間は短縮するが涼しさを向上させる。